

ホームページ（デジタル広報誌）

子どもたちとの会話につなげられるような
デジタル広報誌を作ります。

現状・意見等

- ・ コロナで保護者が学校の様子を見る機会が減った。
- ・ 広報誌は写真が少なくて様子がわかりにくい。
- ・ 学校・PTAより持続可能な活動の仕方を考えてほしい。
- ・ 学校より何枚も写真を載せてもいいが、アルバムにならないようにしてほしい。
- ・ 写真を増やしてほしい。
- ・ ホームページを開設しても見てもらえなくなるのではないか？
- ・ 来年広報委員会になる人が大変と思われそう。

デジタル広報誌のよさ

- ホームページで様子を伝えられます。見えない子どもの姿が見えます。
- ホームページに載せることにより写真の枚数を増やせます。数人が映っているものを掲載し、載せる人数を増やして工夫します。
- 保護者が知りたい、子どもの成長が見たい等の話題を掲載します。
- 学年別で載せたり、シーン別に載せたりしてやっていることがわかるような工夫していきます。
- デジタル広報誌では、広報誌より写真の枚数を増やすことができるので、多くの子どもたちの様子を伝えられます。鮮明に活動の様子が見てもらえる事で、子どもたちのキラキラとした笑顔、真剣な取り組む姿勢等を伝えられます。
- 見たいと思ってもらえるように、内容、様子を伝えたり、保護者が知りたいなあと思う話題を載せていきます。
- ホームページは、スマホで写真を撮って、コメントを添えて校長先生に提出すれば、ホームページに掲載してもらえます。

広報委員会としての活動

- 広報誌の役割 → 保護者・地域の方向け
- 校長先生のホームページの役割 → タイムリーに行事の全体を保護者に伝える
- デジタル広報誌の役割 → 親子向けの話題作りの情報ツール
(保護者の目線で作成)